令和５(2022)年４月８日

# 令和４(2022)年度 活動実績

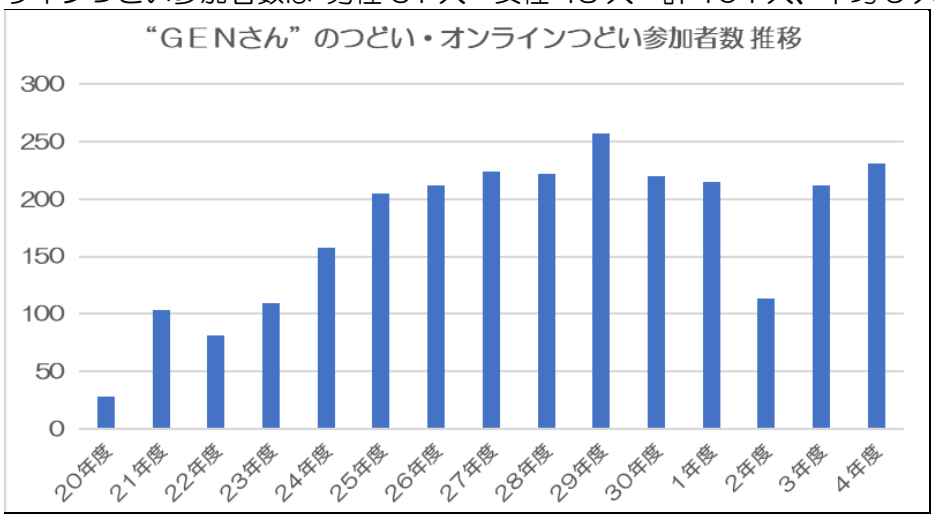
うつ病支援の会あさお
代表　田中 元介

１．うつ病についての理解の促進、うつ病の方への回復支援、自殺についての理解とその予防に関する活動を行ない、うつ病と自殺の低減に寄与する活動の実績

（１）“ＧＥＮさん”のつどい

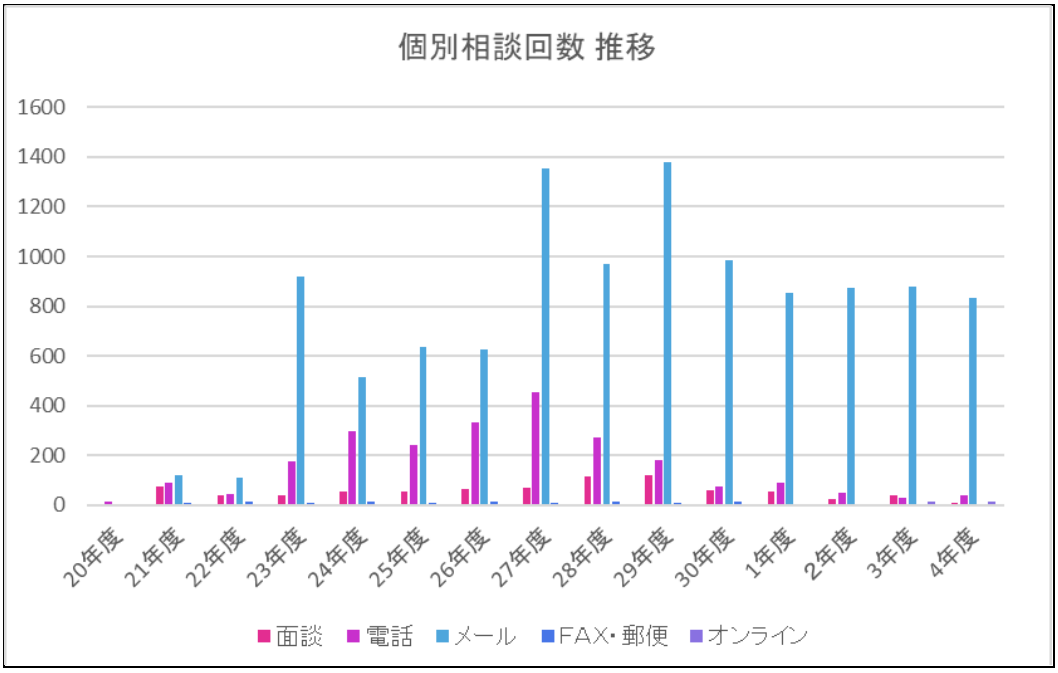
① 毎月１回 原則として第３木曜日に、福祉パルあさお研修室で全て無料で開催しました。
　　13：30～15：00　“ＧＥＮさん”のつどい
　　15：00～16：00　お茶飲み話を楽しむサロン
年間つどい参加者数は 男性６９人・女性５８人・計１２７人、平均１１人／回でした。
お茶飲み話を楽しむサロン参加者数は 男性 64 人・女性４６人・計１１０人、平均９人／回でした。

② 参加者限定で毎月１回、オンラインつどいを開催しました。
原則として毎月第１木曜日の 19：00～20：００に、Google Meet で行ないました。
年間オンラインつどい参加者数は 男性 61 人・女性 43 人・計 104 人、平均９人／回でした。




（２）個別相談

面談、電話、メール、ＦＡＸ・郵送、オンラインで、全て無料で実施しました。
相談・問い合わせ者総数は、84 人でした。相談・問い合わせ回数は延べ面談 12 回、電話 42 回、メール 835 回、FAX・郵便３回、オンライン 14 回、合計 906 回でした。



（３）講座・学習会など
コロナ感染が収まらない見通しだったため計画は計上せず、要請もなかったので実施しませんでした。

２．人の優しさや 人と人との温かいつながりが感じられる、暮らしやすく生き心地の良い地域共生社会の実現に寄与する活動の実績

あさお希望のシナリオ実行委員会主催のシンポジウム「麻生区の未来のありたい姿に向けて」を９月２３日（金・祝）麻生区役所会議室で開催し、幅広い年代の皆さん約１００人に参加していただきました。
第１部で２人のパネリスト（地域ケア総合研究所所長 竹重俊文氏、さわやか福祉財団理事 丹直秀氏）から「高齢化の課題」「地域共生社会」についての講演、第２部で私から「麻生区の現状」「人間関係とコミュニティー」についてお話し、10 グループ・66 人の参加者で、テーマ「麻生区の未来のありたい姿を、できるだけたくさん出してみよう」のブレインストーミングを行なっていただきました。

ブレインストーミングを通して、麻生区の未来のありたい姿が「自然・交通・施設が豊かで充実していて住みやすく、挨拶・声掛け・世代間交流・助け合いが盛んで、やりたいことができて地元愛が育つ街」というのが、多くの方の思いであることが明らかになりました。

このシンポジウムは、麻生区の未来のありたい姿における「最も関心の高いカテゴリーを選ぶための、アイデア募集のステップ」と位置づけて行ない、未来のありたい姿の最も関心の高いカテゴリー「世代間交流と助け合いが盛んで、やりたいことができる街」を選ぶことができました。

計画では、次のステップとして 2030 年に「世代間交流と助け合いが盛んで、やりたいことができる街」が実現しているとは具体的にどういうことかについて、多様な意見・アイデアを出し合い、個人や各団体からも受け止め方を聴きながら練り上げて、2030 年の麻生区のありたい姿を具体的に描き、達成のための活動計画の作成が来年度に計上されるよう努める、ことを挙げました。
しかし、私の力量不足もあって進展がなく 不本意な結果になってしまいました。

３．令和４年度 収支決算
単位：円

| 収　入 | | | 支　出 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 項　目 | ４年度予算 | ４年度実績 | 項　目 | ４年度予算 | ４年度実績 |
| 前期繰越金 | 28,711 | 28,711 | 旅費交通費 | 10,000 | 10,690 |
| | | | 事務用品費 | 10,000 | 8,073 |
| 講演等謝礼 | 10,000 | 3,000 | 印刷代 | 1,000 | 0 |
| 寄付金 | 10,000 | 5,000 | 切手代 | 0 | 0 |
| 資料代 | 3,000 | 700 | 会費・参加費 | 6,000 | 6,000 |
| 交通費受取 | 0 | 3,000 | Google 利用料 | 10,800 | 11,392 |
| | | | ＨＰ維持費 | 3,000 | 3,000 |
| | | | 調査・研究費 | 0 | 0 |
| | | | 会議費 | 0 | 0 |
| | | | 予備費 | 10,911 | 0 |
| | | | 来期繰越金 | 0 | 1,256 |
| 合　計 | 51,711 | 40,411 | 合　計 | 51,711 | 40,411 |

※ 講演の機会がなく講演等謝礼が減少したため、大幅な赤字になりました。

以上